

評価シート 様式

取組名	人のあたたかさとIT技術の情報で、人・街・駅・交通を活性化させるセンターづくり		
実施団体名	つくば市	対象地域	つくば市全域
(代表団体名)		推薦団体名	

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。 <input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
	事業着手時期の関係で、通年の実験ができていない。		

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	人のあたたかさとIT技術の情報で、人・街・駅・交通を活性化させるセンターづくり		
実施団体名	つくば市	対象地域	つくば市全域
(代表団体名)		推薦団体名	

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	<p>本取組は、TXつくば駅から周辺地区に至る導線となる交通インフラを充実させるとともに、その円滑な利用を促進するため、ITを活用したサインを整備する等により、的確に来訪者を誘導し、交通の円滑化とつくば山をはじめとする観光施設・名所への来訪者を増やそうとしている点が評価できる。周遊バス運行の実験については、20年度の取組により地域活性化に向けた効果が確認された。</p> <p>今後は、以下に留意しつつ、地方の元気再生事業を継続することにより、本格的展開に向けた継続的な取組が期待できる。</p> <p>具体的には、周遊バスの運行については事業化を視野に入れた本格的な検討段階に移行すべきと考えられ、市、交通事業者その他地域の関係者による協議会等の推進体制を整え、現行路線との役割分担や有償運行も含めた検討を行うべきである。その際、本格運行への移行が円滑に進むと考えられる他の支援事業があれば、地方の元気再生事業によらず、当該支援事業で対応することを検討すること。なお、取組②「ITを活用したつくば総合情報システムの構築検討」についてはH20提案時の「人のあたたかさ」「おもてなし」が十分反映されるように、内容を絞り込むべきである。</p>